



桜ネックレス (平和町地内)

■ 3月定例会

令和2年度予算	P 2
令和2年度各会計当初予算比較表	P 3
質疑・一般質問 (12人)	P 3～P 9
政務活動費収支報告	P 9
議決結果	P 10
賛否表、同意案、意見書、選挙	P 11

■ 副議長選挙、議員研修会、6月定例会開催予定等 … P 12



©稲沢市 いなっぴー

3月定例会開催

3月定例会は、2月26日から3月26日までの30日間の会期で行われました。

市長から条例関係議案15件、法定議決議案7件、予算関係議案14件の議案が提出されました。

提出された議案については、16日から18日まで開催した総務・文教厚生・経済建設の各常任委員会において審査しました。

また、12人の議員が市政全般に対する質疑・一般質問を2・4・5日の3日間で行いました。

(主な質問及び答弁は39ページに掲載しています。) 最終日の採決の結果、すべての議案を原案どおり可決しました。

(議決結果は10ページ、賛否表は11ページに掲載しています。)

令和2年度の主な新規(拡充)事業

新分庁舎等整備事業

17億1,446万円

災害対策拠点、福祉事務所(福祉課)及び社会福祉協議会の機能を集約し整備する。

子ども医療費助成事業 7億332万円

令和2年8月診療分から、高校生等の入院医療費につき、保険診療分の自己負担額の全額を償還払いで助成する。

祖父江中学校プール整備事業

2億3,257万円

老朽化した祖父江中学校プールを旧祖父江支所敷地に移転整備するとともに現行プールを解体するための設計業務を行う。

保育園・小・中学校防犯カメラ整備事業 1億2,380万円

安全確保のため、公立保育園・小・中学校、全園・全校に防犯カメラを整備する。

ICT化推進計画関連事業

2,465万円

稲沢市ICT化推進計画に基づき、各種事業を実施する。

- ・行政情報システム(基幹系システム)の構築支援 1,670万円
- ・RPA(ロボットによる業務自動化)の導入 440万円
- ・総合案内サービスの導入 191万円
- ・公立保育園のパソコン増設 77万円
- ・多言語翻訳機の導入 20万円
- ・Net119通信システムの導入 65万円

中学校音楽室空調整備事業 3,500万円

生徒の学習環境改善のため、全校の音楽室に空調設備を整備する。

稲沢おでかけタクシー事業

2,200万円

高齢者・障がい者などの交通弱者への外出支援事業としての導入に向け、実証実験を市内全域に拡大する。

(仮称) イチョウ見本園整備事業

3億7,754万円

「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド化の強化・確立を図るため、(仮称)イチョウ見本園を整備する

※万円未満切り捨て

稲沢市議会だより

令和2年度各会計当初予算比較表						
会計名		区分	本年度予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	比較 (千円)	前年比 (%)
一 般 会 計			51,730,000	46,010,000	5,720,000	112.4
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険		12,268,000	12,963,000	△ 695,000	94.6
	介 護 保 険		9,373,000	9,103,000	270,000	103.0
	後 期 高 齢 者 医 療		3,591,000	3,318,000	273,000	108.2
	祖 父 江 霊 園 事 業		-	10,800	△10,800	皆 減
	稲 沢 西 土 地 区 画 整 理 事 業		547,900	436,300	111,600	125.6
	小 計		25,779,900	25,831,100	△ 51,200	99.8
企 業 会 計	病 院 事 業		8,244,390	8,503,502	△ 259,112	97.0
	水 道 事 業		4,598,987	5,226,492	△ 627,505	88.0
	公 共 下 水 道 事 業		4,632,395	4,353,078	279,317	106.4
	集 落 排 水 事 業		444,983	440,233	4,750	101.1
	小 計		17,920,755	18,523,305	△ 602,550	96.7
合 計			95,430,655	90,364,405	5,066,250	105.6

※祖父江霊園事業特別会計については、令和2年度から一般会計に移管

Q&A 議員の質問
市の答弁

質疑・一般質問 Q&A

国が提唱する「GIGAスクール構想」への対応について



北村太郎議員



Q 国が提唱するGIGAスクール構想とは何か。

A 令和2年度までに高速大容量の校内通信ネットワーク環境を整備し、令和5年度までに児童生徒一人一台コンピュータの整備を目指すもの。本市では補助金を活用し、令和2年度中にLANケーブルを最大通信速度(10Gbps)回線対応のカテゴリー6へ更新し、無線LAN環境も整備する。

配置できるように整備計画を立てている。

Q どのようにプログラミング教育を進めるか。

A 情報教育推進委員会で年間指導計画を作成し、令和2年度から取り組んで行く。今後は各学校において新たに位置付けられるプログラミング教育推進教師を中心にそれぞれの学校の特色をいかして進める。

Q 一人一台のコンピュータをどう整備するか。

A 国が示すモデルをもとに、令和2年度には、小学5・6年生と中学1年生に、令和3年度には、中学2・3年生に、令和4年度には、小学3・4年生に、令和5年度には小学1・2年生に

Q プログラミング教育のコンピュータの活用は。

A 当面はパソコン室で学び、今後計画的にタブレットを整備し、一人一台のタブレットを効果的に活用する。



新分庁舎整備に伴う災害対策
と福祉の機能集約について



近藤治夫議員



Q 危機管理戦略の実行と運営は、過程を市民に伝えることが重要である。災害対策拠点の新分庁舎移転予定及び機能集約はどうなるのか。

A 危機管理課と福祉課は今年の秋完成後に移転、社会福祉協議会は令和3年3月末までに移転予定。災害発生時の業務継続計画（BCP）を作成し、参集体制、電源の確保、水・食糧の確保、関係機関との無線配備、非常時優先業務、民間企業とのライフライン連携、要支援者への情報共有連携体制などを整えている。

Q 新分庁舎移転後の福祉拠点の体制は。

A 令和3年4月より高齢者虐待や母子保護などの業務を集約し、福祉相談の機能強化を図る。障がい者・高齢

者支援・成年後見センター等と連携し、ワンストップ化を進める。大規模災害時には、社会福祉協議会が災害ボランティアや外部支援者の受け入れ、調整を行う。

Q 成年後見制度を充実させるための、本市の考えは。

A 制度を利用しやすくするため、成年後見センターを設置する。制度のPR、相談業務、申立支援、後見人の受任調整などを行う。また、センター内に弁護士などの専門職で構成した連絡協議会を設置し、管理監督等を行う予定である。



建設中の新分庁舎

委託費用と民間活力の
活用について



岡野次男議員



Q 民間等への委託費用の1市2町が合併した平成17年度と平成30年度の変動比較及び変動の主な要因は。

A 平成17年度の委託料は、約43億7千6百万円に対し、平成30年度には約57億6千8百万円となっており、差は約14億円の増額となっている。

平成19年度以降、指定管理者制度を順次導入し、平成31年4月1日現在で33施設が直営から指定管理者による運営に変わっており、民間活力の導入の推進が主な変動要因の一つであると考えている。

増となっている。人件費と委託費の変動を総合的に見た場合の見解は。

A 労務単価の上昇や合併特例債を活用して事業を進めてきたことが要因であると考えられる。方向性として、社会課題の解決に企業やNPO等にも担っていただく傾向にある。行政需要や市民ニーズが増大している中、4・5億円の増加に留まっているとの見方もできる。地方自治法に「住民福祉の増進に努めると共に、最少の経費で最大の効果を挙げよう」としなければならない。規定されておらず、効率的な行政運営に努める。



指定管理者制度導入のひまわり園

子どもの読書推進及び認定こども園に関する子育て支援について



平野賀洋子議員



Q 子どもの読書活動推進に向けた取り組みは。

A 家族皆で読書をする事で、家族のコミュニケーションを深める目的の「家読（うちどく）」の啓発を行い、読書量の増加を目指していく。

Q 学校図書館司書補の配置時間増や、教員の働き方改革のため、貸出業務のデジタル化について考えは。

A 学校の要望は、セーフティプラスワンなど市独自の事業を優先している。GIGAスクール構想への取組みを優先しており、デジタル化は順に考えていきたい。

Q 現在、平和地区の認定こども園建設予定地は、工業団地と隣接しており交通量が多く街灯も少ないため、日没後は見通しが悪い。開園

後は、人の流れが変化することも予想されるが、周辺地域の安全対策は。

A 地元要望を踏まえ、担当部署で対応する。

Q 3保育園の運営移譲は、段階的に行われるのか。その場合、保育士が替わるなど子どもたちのケアについての考えは。

A 令和4年4月1日に移譲することを基本としているが、過度な負担が生じる場合は段階的に行う可能性もある。令和3年度には、園児同士、園児がこども園の職員に馴染めるよう、合同保育の実施を検討している。



「中学校の校則」について



富田和音議員



Q 校則に高額なコートのみ許可という記載の学校があるが、7人に1人が貧困家庭という時代における家計負担についてどのように考えているか。

A 厳冬期に着用するコートをダッフルコート、ピーコート、ステンカラーコートのみ可と規定する学校はあるが、保護者の負担を考慮して柔軟に対応を行っている。

Q おしゃれな下着での登校は論外だが、いわゆるブラック校則と言われる下着を白色にこだわる学校の理由は何か。

A 校則で肌着の色を指定している学校はあるが、肌着を実際に確認することは行われていない。従来から校則の見直しを随時行っているが、今後も時代とともに変

わる受け止め方に対応できるように教育委員会に届いた声を学校現場に伝えていく。

Q 黒タイツに白ソックスという奇妙な格好をしないと違反になる為、それを嫌がる女子生徒が、結果として寒い冬に素足での登校を強いられる学校の校則は、体罰に相当するのではないか。

A 校則の見直しは最終的には各学校で適切に判断されるべき事柄であるが、見直しの際には生徒の話し合いや、保護者からの意見を聴取などした上で決定することが大切だと考えている。



高齢者の安全な移動手段の確保について



朽本敏子議員



Q 高齢ドライバーの運転ミスによる交通事故が社会問題となつているが、移動手段の少ない地域では、車はなくてはならない生活の足である。国の補正予算に、衝突被害軽減ブレーキや急発進抑制装置を搭載したサポカー（安全運転サポート車）補助金が盛り込まれ、購入時だけでなく、後付けも含めて申請受付が3月から始まることになったが稲沢市では補助の予定は。

A 本市では、65歳以上を対象に後付け安全運転支援装置の補助を行うため、6月議会の補正予算に補助金を計上する予定。補助対象の台数は、二百台から四百台を見込み、国の補助に県・市が上乗せ補助をする仕組みを予定している。

Q 補助申請の流れや補助額は。4月1日以降に購入した後付け安全運転支援装置が対象となる予定で、具体的には、店頭価格が8万円であれば、10分の5が国から補助されるため、残りの10分の5である4万円を一度支払っていたら、その後市の危機管理課に補助金交付申請を行っていただく。市は、購入者に県の補助額10分の2を合わせた3万2千円の補助を振り込み、個人支払額は10分の1の8千円になる予定。

補助額は、条件などによって異なることがあります。詳しくは、指定販売店か市役所危機管理課にお問い合わせください。



公共施設等統合管理計画と今後のまちづくりについて



曾我部博隆議員



Q 公共施設等総合管理計画は、開発の財源づくりでないか。

A 人口減少等による利用需要の変化を踏まえ、施設や道路等のインフラを含め、長寿化等を計画的に行うことで財政負担を軽減、平準化し、最適な配置を実現するため、特定事業の財源を捻出する手段ではない。

Q 国府宮駅周辺に二極集中したコンパクトシティのまちづくりは間違っている。住民の願いを聞き、進めるべきと考えるがどうか。

A 第3次稲沢市都市計画マスタープランに国府宮駅周辺整備を重点施策と位置づけるとともに、各地域拠点を地区計画等の活用で機能維持することで、市の特性に応じたまちづくりに努めていく。

Q 多額の公金を投入し、名鉄国府宮駅周辺の再整備が推進されるが、市街化調整区域の規制緩和により、地価の安い地域に人が流れるのではないか。

A 人口の維持、地域コミュニティの確保が重要との思いで規制緩和の検討をしてきた。国府宮駅周辺の再整備は、人を呼び込むと同時に中心地として活性化を図るもので、双方とも不可欠な



国府宮駅周辺の様子

中高年齢層の社会参加への支援について



服部礼美香議員



Q 就職氷河期世代の就労支援について、雇用促進と中小企業の人手不足解消につながる実効性のある施策への見解は。

A 国や県の施策を十分に把握するとともに、関係団体との連携強化、制度周知、マッチングを図る説明会等、雇用機会の拡大に努めたい。

Q 深刻化・長期化する中高年の引きこもりに対し、どのような対応をしているか。

A 福祉総合相談窓口で、親からの相談や、地域包括支援センター職員からの情報提供により対応している。

今後は問題を早期に把握し、すぐに対応できるような体制づくりと相談窓口をホームページにもわかりやすく掲載するように努めたい。



Q 中高年齢層の社会参加への支援に対する今後の取り組みについて、ワンストップの専門的な相談窓口やアウトリーチ（積極的に対象者に出向いて、働きかける）支援員を配置するなど、柔軟に対応できる相談支援体制が必要ではないか。

A 福祉の拠点ができる令和3年度に拡充し、また、多機関の協働による包括的支援体制整備事業も進めていく。現在もアウトリーチの支援を行っているが、国が求める「伴走型の支援」も充実させたい。

高齢者の生きがいを増やす取り組み



加藤孝秋議員



Q 元気な高齢者の社会参加を促進し、健康寿命延伸のため、生きがいと健康づくりを推進する生涯学習の場や日頃の成果を発表できる場を設けているのか。

A 高齢者の生涯学習の一環として、盆栽・陶芸・料理等のシルバースクールや趣味の教室を開催している。

また、地区老人クラブの運動会やゲートボール・グラウンドゴルフ大会等の健康増進、カラオケ・民謡・舞踊などの日頃から愛好している芸能や特技を発表する高齢者芸能大会の開催、書道・絵画・写真・陶芸・盆栽等、高齢者の方々の作品を展示する趣味の作品展の開催、精進の成果を発揮する高齢者囲碁・将棋大会の開催などを行っている。

Q 生涯学習の場は分かったが、高齢者にこのような機会の場の周知をどのように行っているか。

A 広報やホームページへの掲載を始め、各地区の老人クラブや高齢者ふれあいサロンなどの集いの場等へ出向いて、周知を行い、支所、市民センター、老人福祉センターにチラシ等を配布する等、広く参加いただけるよう知らせている。

元気で生き生きと過ごせるよう、健康づくり活動や介護予防事業等で、高齢者の社会参加の推進と健康寿命の延伸に取り組んでいく。



稲沢市民病院改革プランと
今後のビジョンについて



星野俊次議員



Q 稲沢市民病院改革プランに示される病院の役割と経営指標の数値目標達成度、取り組み内容の進捗状況は。

A 高齢者が地域で安心して生活できるための役割を担っていると考えます。数値目標は近い将来純損益が黒字化するよう設定しましたが、平成30年度の実績値では医師数が目標よりも6名少ないことが影響し、達成できない項目が多くあった。取り組み状況は、達成の絶対条件である常勤医師の確保について努力を重ねたが、目標には及ばなかった。

Q 医師と看護師の年齢構成と人員についての課題は。

A 医師は40代が少なく、10年後には指導的立場の医師不足により、特に休日・夜間の救急の受入体制の維持が

課題と考える。看護師は交代制による不規則・長時間勤務による疲労や結婚・育児などによる早期退職者が多く、働きやすい環境づくりへの方策が課題と考える。

Q 現在の課題を踏まえた今後の市民病院のビジョンは。

A 二次救急病院として救急の役割を果たし急性期医療の充実に努め、地域医療機関と連携し入院医療を重点とすること、在宅医療を支えて地域包括ケアシステムの中核となるべく回復期医療も担うことの2点が不可欠と考え

る。そのためにも医師の人員増が課題と考える。



稲沢市民病院

学校運営協議会・コミュニティ
スクールについて



志智 央議員



Q 学校運営協議会は保護者や住民の声を聞き、地域ぐるみで学校を運営する仕組みである。

A 本市では、大里東小中学校、千代田中学校で導入を考えているが、「学校運営に関して議論して下さい」と言われて、すぐできるものか。

①協議会の核となるメンバーで他自治体の取り組みを見に行く。②各校最低1名は学校運営協議会のコーディネーターを配置し、それらを統括する専門員を置くなどの対応が必要では。

A 学校運営協議会設置の趣旨や目的について地域住民へ周知をしていきながら、地域住民の関係が高まるよう検討していきたいと考える。

Q 学校運営協議会の事務局は、教頭先生になると思うが、

A 負担が増して教員の働き方改革に逆行してしまわないか。どのように進めていくのか。

A 学校運営協議会を設置することで、学校の教職員の負担が増えることがないよう運営していくことを考えている。令和3年度には、全小中学校で学校運営協議会を設置し、各学校ごとに、地域の特性を踏まえたうえで、よりよく機能できる体制整備に努めていきたいと考える。



登下校時における子どもの安全確保について



大津丈敏議員



Q 小学生の登下校時における安全確保は、どのように行われているか。

A 安全性を考慮し、従前より集団による登下校をしている。さらに、スクールガードや旗当番の方々など地域の皆さんにお力添えをいただき、安全を確保している。

Q 児童の通学路の現状は。

A 交通事情の変化や工事等で従来の通学路の安全が確保しづらい状況が発生した場合は、その都度、学校から通学路変更の要望が提出され、より安全な通学路を指定している。

Q 登下校時の子どもの安全について、今後の取り組みは。

A 従来では想定できない交通事故が各地で起きている。そのことを踏まえ、毎年各

小学校で実施している「交通安全教室」で、児童自ら危険を察知し、危険を回避する安全教育に取り組んでいるところである。

登下校の安全については、通学路点検の結果を反映した安全マップの作成と情報共有、通学団における安全指導、セーフティプラスワ事業による一斉下校、スクールガードや旗当番など地域の方々の見守りにより、児童の安全確保をしていきたい。

今後も、これまで行ってきた通学路の安全確認や安全指導をより綿密に、また丁寧に行うよう指示していく。



令和元年10月～令和2年3月分 政務活動費収支報告

(単位:円)

	創生会	市民クラブ	公明党 稲沢市議団	曾我部博隆	野々部尚昭
交 付 額	1,920,000	720,000	240,000	120,000	120,000
戻 入		△20,000			
小 計	1,920,000	700,000	240,000	120,000	120,000
調査研究費	872,716	298,653	122,708		
研 修 費			82,960		
広 報 費	415,800			107,550	
資料作成費		30,000		5,478	
資料購入費		84,336	31,020	6,860	31,553
合 計	1,288,516	412,989	236,688	119,888	31,553
残(返還)額	631,484	287,011	3,312	112	88,447

※ 所属議員数に月額2万円を交付している
※ 残余分については、市へ返還している

会議録や本会議の映像
をご覧ください。
(今回からQRコードを
掲載しました。)

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、市立図書館や各地区市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

この議会だよりに掲載している令和2年3月定例会の一般質問等の会議録は、5月下旬に配布できる予定です。



会議録、本会議録画映像は、市のホームページからご覧いただけるようになっていきます。

また、スマートフォン等でも視聴できますので、本会議録画映像については、QRコードを読み取り、ご覧ください。

3月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果	
議案第 1号	稲沢市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 2号	稲沢市報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 3号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 4号	稲沢市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 5号	稲沢市印鑑条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 6号	稲沢市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 7号	稲沢市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 8号	稲沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 9号	稲沢市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 10号	稲沢市都市公園条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 11号	尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業施行規程の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 12号	稲沢市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数	可決
議案第 13号	稲沢市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 14号	稲沢市公共下水道事業の設置等に関する条例及び稲沢市集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 15号	稲沢市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	全員賛成	可決
議案第 16号	財産（土地）の取得について	全員賛成	可決
議案第 17号	稲沢市道路線の廃止について	全員賛成	可決
議案第 18号	稲沢市道路線の認定について	全員賛成	可決
議案第 19号	損害賠償の額を定めることについて	全員賛成	可決
議案第 20号	損害賠償の額を定めることについて	全員賛成	可決
議案第 21号	令和2年度稲沢市一般会計予算	賛成多数	可決
議案第 22号	令和2年度稲沢市国民健康保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第 23号	令和2年度稲沢市介護保険特別会計予算	賛成多数	可決
議案第 24号	令和2年度稲沢市後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数	可決
議案第 25号	令和2年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計予算	全員賛成	可決
議案第 26号	令和2年度稲沢市病院事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 27号	令和2年度稲沢市水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 28号	令和2年度稲沢市公共下水道事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 29号	令和2年度稲沢市集落排水事業会計予算	全員賛成	可決
議案第 30号	祖父江生涯学習施設ほか新築ほか工事の請負契約の締結について	全員賛成	可決
議案第 31号	祖父江の森温水プール改修工事（リニューアルほか）の請負契約の締結について	全員賛成	可決
議案第 32号	令和元年度稲沢市一般会計補正予算（第6号）	賛成多数	可決
議案第 33号	令和元年度稲沢市祖父江霊園事業特別会計補正予算（第1号）	全員賛成	可決
議案第 34号	令和元年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 35号	令和元年度稲沢市水道事業会計補正予算（第2号）	全員賛成	可決
議案第 36号	令和元年度稲沢市一般会計補正予算（第7号）	賛成多数	可決

(報告)

報告第 1号	専決処分の報告について
--------	-------------

(同意案)

同意案第 1号	公平委員会委員の選任について	全員賛成	同意
同意案第 2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	全員賛成	同意

(意見書)

意見書案第 1号	中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書	全員賛成	可決
----------	--------------------------------	------	----

賛 否 表

議員名 議案番号	杉山太希	平野賀洋子	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	大津丈敏	加藤孝秋	岡野次男	富田和音	志智央	木全信明	東野靖道	吉川隆之	木村喜信	網倉信太郎	長屋宗正	服部猛	出口勝実	六鹿順二	朽本敏子	星野俊次	曾我部博隆	野々部尚昭
議第 8 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 12 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 21 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 22 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 23 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 24 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 32 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○
議第 36 案号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	一	○	○	●	○

※ 全員が賛成した議案は記載を省略しています。 (○は賛成、●は反対、欠は欠席)
 ※ 六鹿順二議員は議長のため採決には加わりません。

同意案

次の方々の推薦、選任に同意しました。

○公平委員会委員

源治 保秀 氏

(一宮市・新任)

○固定資産評価審査委員会委員

杉原 利秋 氏

(大矢町村内上・新任)

伊藤 清茂 氏

(祖父江町甲新田・再任)

山田 雅明 氏

(平和町西光坊・新任)

意見書

3月定例会の最終日に意見書1件について審議した結果、可決し、26日付けで内閣総理大臣等に提出しました。

意見書案第1号 中高年のひきこもりに対する実効性ある支援と対策を求める意見書

選挙

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を行いました。

○委員

梶浦 忠明 氏

(下津南山二丁目)

杉山 敏雄 氏

(生出本町)

家田 裕己 氏

(千代町東郷)

尾崎 繁博 氏

(平和町下起中)

○補充員

高田 賢次 氏

(高御堂二丁目)

伊藤 千代一 氏

(清水町)

河村 保 氏

(井堀高見町)

牧田 裕子 氏

(平和町嫁振)

副議長決まる

3月26日に副議長の選挙を行いました。



木全信明
副議長

下記について、新しく選任しました。

議会運営委員会副委員長	志智 央
後期高齢者医療広域連合議会議員	木全信明
土地開発公社 理事	岡野次男
尾張水害組合組合会議員	木全信明

編集／広報広聴委員会

議員研修会を開催

2月19日に「第2期地方創生の力ギは議会にある」をテーマに議員研修会を開催しました。講師に早稲田大学マネーフエルト研究所事務局長である中村健氏を迎え、議会での先進事例等について講義を受けました。



議員研修会の様子

今後
の議会
運営に
生かし
てまい
ります。

議会報告会の中止

例年5月に議会報告会を実施してまいりましたが、今年につきましては、コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただきます。

ご理解賜りますようお願い申し上げます。

発行／稲沢市議会

表彰

愛知県市議会議長会定期総会（稲沢市が開催市として実施）において、長屋宗正前議長、魚住明前副議長に感謝状が贈呈されました。



長屋宗正
前議長



魚住 明
前副議長

遠藤明議員が去る2月24日に逝去されました。ここに生前のご功績を称え、謹んでご冥福をお祈りいたします。



遠藤 明 議員
平成19年に初当選副議長、監査委員、経済建設委員会委員長等を歴任

地球環境保護のため、再生紙を使用しています。

6月定例会開催予定

本会議は、市役所3階の議場で午前9時30分から始まり、次回開催の6月定例会会期日程(案)をご案内します。

6月

11日(木)	開会
16日(火)	質疑・一般質問
17日(水)	質疑・一般質問
18日(木)	質疑・一般質問
19日(金)	質疑・一般質問予備日
22日(月)	総務委員会
23日(火)	文教厚生委員会
24日(水)	経済建設委員会
25日(木)	委員会予備日
26日(金)	議会運営委員会
29日(月)	閉会

※日程は変更する場合があります。また、傍聴については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とさせていただきます。詳細は、議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局

電話(直通)
(0587)
32-1459

FAX(直通)
(0587)
32-1124

